

# 広域避難者支援連絡会 in 東京 平成 26 年度事業計画書

平成 26 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

## 1 連絡会の概要

(1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京

(2) 設立日 2013 年 5 月 22 日 (水)

(3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局  
東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、高橋  
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX03-3235-0050  
ホームページ <http://www.tvac.or.jp/special/kouiki>  
メール [kouikihinan@tvac.or.jp](mailto:kouikihinan@tvac.or.jp)

(4) 参加団体 11 団体

東京都生活協同組合連合会  
東京災害ボランティアネットワーク  
災害復興まちづくり支援機構  
震災がつなぐ全国ネットワーク  
公益財団法人さわやか福祉財団  
中央労働金庫  
荒川区社会福祉協議会  
全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）  
いたばし総合ボランティアセンター  
東京労働者福祉協議会  
東京ボランティア・市民活動センター

## 2 東京の現状と連絡会の目的

### (1) 東京における広域避難者支援の現状

- ・東京の避難者数は 8033 人（平成 26 年 1 月 16 日現在）。岩手県、宮城県、福島県の 3 県を除き、最も避難者数の多い都道府県となっている。
- ・また、避難者の多い山形県や新潟県と比較すると東京における避難者人口は減りがゆっくりとなっており、長期間東京で避難生活を続ける方々も多く存在することが想定される状況となっている。そのため、避難当事者からも地域とのつながりをどのように考えていくべきかとの声が聞こえている。
- ・また、行政や民間団体が実施する避難者支援の取組みは以前と比べれば進んできたものの、それらの情報が行き届いていない人がある、また知り得た情報を共有する場や WEB サイトが少ない現状も見られる。
- ・都内では当事者団体が幾つか立ち上がってきているが、どのような活動を今後していくべきか各団体の活動方針や内容等の情報交換が不足している。一方で避難当事者団体同士が一緒にイベントを企画するなどの取組みも行われ始めてきている。

### (2) 目的

広域避難者支援連絡会 in 東京は、避難されている方が少しでも安心した生活を送れるよう、都内の支援団体や避難当事者団体を対象とした交流の場づくりや地域でのネットワークづくり等の支援を通して、都内に避難されている方を支援することを目的とする。

## 3 連絡会の事業内容

### (1) 総会の開催

総会を開催し、平成 26 年度事業計画及び収支予算等について審議する。

### (2) 定例会の開催

連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催する（基本的には毎月 1 回開催）。

### (3) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

#### ①目的

避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図る。特に平成 26 年度は、避難当事者団体のネットワーク強化に取り組む。

#### ②回数

- ・支援団体に広く呼びかけるミーティングを2回程度予定（時期未定）
- ・当事者団体限定のクローズドなミーティングを2回程度予定（時期未定）

#### （４）当事者団体との協働事業

都内にある避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している12団体の当事者団体と協働して具体的な交流プログラムを実施する。

※なお、この事業は実行委員会形式で実施する予定。

※予算については、実行委員会で検討した後、さまざまな関係機関に提案していく予定。

#### （５）情報発信

##### 1) メルマガの配信

- ①目的 都内で支援活動を行なう避難者支援団体の取組み情報を収集し、共有する。
- ②内容 広域避難者支援ニュース in 東京（メルマガ）の発信
- ③頻度 月に2～3回程度

##### 2) ホームページでの情報発信

25年度に引き続き、ホームページでの情報発信を行う。現在、東京ボランティア・市民活動センター内のページに連絡会の情報を掲載しているが、連絡会独自のホームページを作成する。

#### （６）ネットワーク作り

##### 1) 避難当事者団体とのバディ制の実施

25年度に引き続き、それぞれの避難当事者団体につき、連絡会の構成団体が情報収集等を担当するバディ制を実施する。

##### 2) 全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

全国レベルでのミーティングや近隣県で開催される情報交換の場に参加する。

以上

## 広域避難者支援連絡会 in 東京のあゆみ

平成 26 年 10 月  
広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局

- 2012年夏 JCNで広域避難者支援ミーティング全国版開催  
⇒東京での広域避難者支援の動きが見えにくいことが指摘される。
- 2013年秋 JCNの協力のもと、TVAC・東災ボは、都内の避難者支援が行うサロン活動等へ出かけて行くなどして支援団体と関わりを持つようになる。
- 2013年1月 広域避難者支援連絡会 in 東京 準備会 発足  
参加団体：7団体  
東京ボランティア・市民活動センター／東京災害ボランティアネットワーク／震災がつなぐ全国ネットワーク×日本財団ROADプロジェクト／東京都生活協同組合連合会／公益財団法人さわやか福祉財団／中央労働金庫／災害復興まちづくり支援機構  
以後、2月、3月と準備会定例会を開催
- 2013年3月 第1回広域避難者支援ミーティング in 東京 開催  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京、JCN 参加者 90団体 133名
- 2013年5月 広域避難者支援連絡会 in 東京 発足  
参加団体：9団体  
東京都生活協同組合連合会／東京災害ボランティアネットワーク／災害復興まちづくり支援機構／震災がつなぐ全国ネットワーク／公益財団法人さわやか福祉財団／中央労働金庫／荒川区社会福祉協議会／全労済（全国労働者共済生活協同組合連合会）／東京ボランティア・市民活動センター  
以後、毎月定例会を開催
- 2013年7月 第2回広域避難者支援ミーティング in 東京 開催  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京、JCN 参加者：72団体 150名
- 2013年11月 第3回広域避難者支援ミーティング in 東京 開催  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京 参加者：72団体 111名
- 2013年11月 紅葉狩り 2013 秋への協力  
主催：紅葉狩り 2013 秋実行委員会 参加者：21名
- 2013年12月 お正月準備の会への協力  
主催：2014 お正月準備実行委員会 参加者：70名
- 2014年2月 第4回広域避難者支援ミーティング in 東京（当事者団体のみのクローズド）開催  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京  
参加者：避難当事者団体 12団体（14名）連絡会から 12名、オブザーバー22名が参加

- 2014年6月 広域避難者支援連絡会 in 東京 総会 開催
- 2014年6月 広域避難者支援ミーティング in 関東（第5回東京ミーティングとして開催）  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京、JCN  
参加者：99 団体 135 名
- 2014年6月 当事者団体からなるバスハイク実行委員会 が設置される（月1以上の頻度で委員会を開催）  
11月にバスハイクを企画（連絡会は実行委員会の事務局をサポート）
- 2014年9月 第6回広域避難者支援ミーティング in 東京（当事者団体のみのクローズド）開催  
主催：広域避難者支援連絡会 in 東京  
参加者：避難当事者団体 12 団体（15 名）連絡会から 13 名、オブザーバー37 名が参加

【現在、連絡会とつながりのある避難当事者団体（14 団体）】

町屋6丁目ミニサロン  
東雲の会、コスモス会  
足立区新田ふるさと会  
青空会  
むさしのスマイル  
東北の絆サロンFMI 会  
みちのくまほろば会  
福島県被災者同行会  
とみおか子ども未来ネットワーク  
人の輪ネット  
スノードロップ  
東久留米住宅ふれあいの会  
鷺宮都営住宅自治会

以上